

新潟医療センターニュース

第21号
発行 JA新潟厚生連
新潟医療センター
発行責任者 吉澤弘久

病院の理念

生命の尊厳と人間愛を基本として、地域社会の医療・保健・福祉に貢献することをめざします。

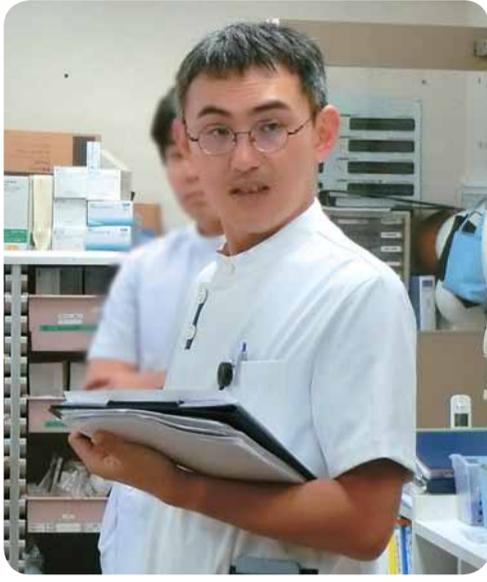
基本方針

1. 私たちは、安全で質の高い医療の提供に努めます。
2. 私たちは、利用する方々の権利を尊重し、信頼される医療法人をめざして研鑽に努めます。
3. 私たちは、地域が必要とする安心と満足の得られる、医療・保健・福祉の充実を図るための、健全な運営に努めます。

高齢化社会が進むにつれ、当院においても認知症の患者さんが多く入院されるようになってきています。そんな中、当院に精神科認定看護師の片野快宏さんが配属されました。片野さんより精神科認定看護師と認知症ケアとの関わりについてお話を伺いました。

今年度四月より、新潟医療センターに入職しました、精神科認定看護師の片野と申します。認定看護師とは、普通の看護師の資格に、さらに各分野の専門性を高めた資格となりまして、現在では日本看護協会二分野、日本精神科看護協会一つの専門に分かれていて、当院では「皮膚・排泄」「感染管理」「集中ケア」の認定看護師が活躍しています。

ここに「精神科」が加わることとなりました。



精神科認定看護師とは

うつ病、統合失調症、薬物・アルコール関連障害、認知症など、精神的な症状を専門に、状況を分析して、ケアを実践すること。また、精神科ケアで悩んでいる他のスタッフへの相談、指導などの業務をします。

認知症とせん妄・認知症ケアサポートチーム(DST)

近年、認知症を発症する方は増え続けており、二〇二五年には七〇〇万人を超える国から推定値が発表されています。これは六五歳以上の方の五人に一人が認知症になるという、ものすごい数字になっています。

この認知症の問題に対し国は、精神科病院以外でも認知症の対応ができないといけない状況であると考え、平成二十八年より、認知症対応力を上げるための研修をはじめ、病院内の認知症患者さんを多職種で見るチームの仕組みを作りました。このことにより、以前一般病院では認知症の方は受け入れられないので、体の治療ができませんということもありましたが、今では精神の疾患がある人も体の治療を受けやすくなっています。

新潟医療センターでも時代の流れに沿って、せん妄・認知症ケアサポートチーム(DST)という多職種チームを立ち上げ、そこで精神科認定看護師の専門性を発揮しています。

またDSTでは、認知症だけでなく、高齢者の手術後に起こしやすい意識障害「せん妄」やうつ症状にも対応しています。精神的な問題で体の治療が遅れたり、体の病状が悪化することがないように、治療や、精神症状への関わり方について提言し、一日も早く回復できるよう努めています。

精神科認定看護師 片野 快宏



スタッフ問診



当院では本年五月から、入院患者さんにしばしばみられるせん妄や認知症に伴う行動・心理症状に対し

て、多職種の専門職で構成された「せん妄・認知症ケアチーム」が設置され、症状の悪化を防ぎ、身体拘束を減らし、治療が円滑に進むようサポートすることを目標として活動を始めました。このチームに欠くべからざるメンバーである専任の認定看護師として、四月から入職された片野快宏精神科認定看護師が加わっています。神奈川県での勤務経験を生かして、速やかにチームの体制を整えてくれました。精神科を基盤とする認定看護師は貴重な存在であり、当院における診療とケアの質をさらに高めるために、片野さんの活躍を大いに期待しています。

脳神経センター長 西澤 正豊 (裏面もご覧ください)

新任医師紹介

呼吸器内科
遠藤 啓一



この度ご縁があり七月一日より転勤してきまして呼吸器内科の遠藤啓一です。これまで新潟市内の市中病院では本戸病院、新潟白根総合病院で勤務してきました。

私が役に立てることはわずかと存じますが、当院の雰囲気や溶け込んで自分自身の役割を自覚し責務を果たせるように努めていきたいと思っております。以上、簡単ではありますが新任の挨拶ならびに自己紹介とさせていただきます。ご一緒が宜しくお願ひします。

整形外科
坂爪 佑輔



この十月に新潟医療センターに着任いたしました、整形外科の坂爪佑輔(さかづめゆうすけ)と申します。新潟市秋葉区(旧新津市)生まれ、新潟大学卒です。九月までは魚沼基幹病院にて勤務しておりました。微力ながら一生懸命診療を行わせて頂きます。よろしくお願ひ致します。

病院機能評価認定を更新しました

今後もより一層の機能の充実とサービスの向上に努めて参ります

医療を見つめる第三者による評価。それが病院機能評価です。

病院機能評価は、病院が安全・安心、信頼の得られる医療を提供するための基本的な活動(機能)が、適切に実施されているかどうかを評価する仕組みです。

評価調査者(サーベイヤー)が中立・公平な立場にたつて、所定の評価項目に沿って病院の活動状況を評価します。評価の結果明らかになった課題に対し、病院が改善に取り組むこと

認定病院は、より良い病院作りを目指して成長し続ける病院です

病院機能評価の審査の結果、一定の水準を満たしていること認められた病院が「認定病院」です。すなわち認定病院は、地域に根ざし、安心・安全、信頼と納



で、医療の質向上が図られます。

得の得られる医療サービスを提供すべく、常日頃努力している病院であると言えます。すでに全国の病院の約三割が認定されています。

病院長 吉澤 弘久

気軽に病院へ遊びに来てください！ ～この秋、第4回病院祭が開催されます～

第4回 病院祭

2018年11月4日(日)
午前10:00～午後3:00
新潟医療センター



生きる喜び！食と医療を考えてく！です。

新潟大学・病態栄養学講座・准教授・細島康宏先生による「低たんぱく米」の講演を中心に、各診療部門による紹介ブースが設置されます。

ふれあいステージでは、様々なジャンルのミニコンサートが盛りだくさん披露されます。消防車等の展示やJAいっぺーこの野菜販売の他、未使用品バザーも企画しております。風船や綿あめの無料配布や、模擬店、喫茶コーナー等もあり、家族の皆さんでお楽しみ頂けると幸いです。

ミニ検診コーナーでは、美肌年齢・血管年齢・骨密度等の無料健康チェックも行います。この機会に、健康の目安として体験してみてください。

十一月四日(日)の病院祭開催に向け、職員一同、楽しみながら準備を進めております。ご期待ください！

第四回病院祭

副実行委員長 大橋 利弘

編集後記

猛暑が続いた夏が去り、季節はすっかり秋模様となりました。スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋と、秋にはいろいろなありますが、皆様の秋は何でしょうか。私は、やはり食欲の秋です。今年も当院の給食で「新之助」を提供する予定で、今からとても楽しみにしています。皆様もよい秋をお過ごしください。

管理栄養士 齋藤 由貴